

政治・経済

指導目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。		
教材	教科書：「政治・経済」（東京書籍） 学習書：「政治・経済 学習書」 ネットレポート（一部対象者は郵送レポート）・学習ノート	レポート 面接指導 放送 効果測定・試験	全6回 必要時間数：1時間 全42回（ラジオ WEB聴取可） 中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）
単位	2単位		
評価	レポート提出状況（提出期限）および各回評価、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況、中間到達度チェックおよび試験結果等を総合的に評価し判定。		

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験	
	回数（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲	
4			1	①オリエンテーション／ 民主政治の成立 政治・経済の学習方法について確認する。	1	政治・経済のまなび方			
			2	民主政治の基本原則としてどのようなものがあるか、それらがなぜ大切なのかを理解する。	2	民主政治の成立			
			3	② 日本国憲法の基本原理 日本国憲法の基本原理について、国民権・基本的人権の尊重・平和主義の考え方を理解する。条文を参照しつつ、具体例とともにとらえる。	3	現代の民主政治			オリエンテーション
			4		4	日本国憲法の制定			
5			1	③ 基本的人権の保障 日本国憲法で定められている基本的人権にはどのようなものがあるか、自由権と社会権の私たちの生活への関連性もふまえて理解する。新しい人権とは、どのような人権が具体的に理解する。	5	基本的人権の保障			
			2		6	新しい人権			
			3	④ 国会と立法 国会の地位・権限・運営について理解する。衆議院の優越について、背景も含めて理解する。国会の課題について具体例をもとに考える。	7	平和主義			
			4		8	国会と立法			
6	第1回 (6月10日)	「民主政治の基本原則」 民主政治の成立 基本的人権の確立 現代の民主政治 世界のおもな政治体制	1	⑤ 内閣と行政 内閣と国会の関係、内閣総理大臣がどのように決まるのか、内閣総理大臣と大臣の関係について理解する。内閣の機能について、1府12省庁体制について理解する。日本の行政をめぐる諸問題について具体例をもとに考える。	9	内閣と行政			
			2		10	裁判所と司法			
7	第2回 (7月15日)	「日本国憲法の基本原理」 日本国憲法の制定と基本原理 基本的人権の保障 平和主義	3	⑥ 裁判所と司法 司法権の独立という考え方について、理解する。日本の裁判所の種類について、三審制と再審制度について理解する。裁判所種類について理解する。違憲法令審査権とは何かとらえる。司法の課題・国民の司法参加について大切なことについて考察する。	11	地方自治			
			4		12	戦後政治と政党			
7		「日本の政治機構」 国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治	1	⑦⑧ 選挙と政治意識 選挙制度について理解する。また、日本の選挙制度の概要・選挙をめぐる諸問題（一票の格差など）を理解する。主権者として大切なことについて、選挙に関わる具体的な事象に触れながら、考えを深める。	13	選挙と政治参加			
			2		14	国際関係と国際法			
			3		15	国際連合			
			4		16 国際政治の動向 17 地球環境と資源エネルギー問題				

8			⑨⑩国際連合の役割と課題 国際連合の目的について、「国際連合憲章」の条文を参照し、確認する。国際連合の主要期間について概観する。特に安全保障理事会の役割と常任理事国の拒否権について理解する。国際連合の取り組みと課題について、具体的な事象に触れながら、考えを深める。				
						中間到達度チェック実施前の前半まとめ	
9	第3回 (9月20日)	「現代の国際政治」 国際政治の特質 国際社会と国際法 国際連合の役割と課題 戦後国際関係の展開と日本 国際政治の課題	⑪家計・企業・政府 経済主体それぞれの役割について理解する。経済活動がどのように循環しているかを図などを参照して、理解する。	18 19	資本主義体制の成立と発展 家計・企業・政府		
		「現代の資本主義経済」 資本主義体制の成立 資本主義経済の発展と変容 「現代経済のしくみ」 経済主体と経済の循環	⑫市場経済の機能と限界 需要曲線と供給曲線について、均衡価格とは何かについてレポート出題範囲内で理解する。市場の失敗にはどのようなものがあるか、寡占化・独占化においてみられる事象をとらえる。	20 21	生産のしくみと企業 市場経済の機能と限界		中間到達度チェック (レポート第1回～第2回)
10			⑬金融のしくみと機能 通貨とはどのようなものか、通貨制度について概観する。直接金融と間接金融の違いについて理解する。中央銀行の役割について理解する。金融政策とは何か、具体例にふれながら理解する。	22 23 24	国民所得と経済成長 金融のしくみと機能 財政のしくみと機能		
			⑭財政のしくみと機能 財政とは何か、日本の財政制度について概観する。歳入の中心である租税について、直接税・間接税の違いを理解し、直間比率の問題について考える。財政の課題について、現在の日本の財政状況にふれ、考える。	25 26	日本経済のあゆみ 日本経済の現状		
11	第4回 (11月5日)	「現代経済のしくみ」 生産のしくみと企業 市場経済の機能と限界 国民所得と経済成長 金融のしくみと機能 財政のしくみと機能	⑮日本経済のあゆみ 戦後日本の経済のあゆみを概観する。特に高度経済成長とはどのような時期であったか、プラザ合意からバブル景気までの流れを理解する。	27 28	公害と環境保全 消費者問題		
		「日本経済の発展と産業構造の変化」 経済再建から高度成長へ オイル・ショック後の日本経済	⑯消費者問題 消費者主権とはどのような考えか、確認する。消費者保護をめぐる行政の動きについて確認する。現在において消費者に求められることは何か考察する。	29 30	農業・食料問題 中小企業の現状と課題		
12	第5回 (12月15日)	「日本経済の発展と産業構造の変化」 日本経済の現状	⑰農業・食料問題 日本の農業政策の変遷を概観する。日本の食料問題とはどのようなことか、食料自給率を参照しながら理解する。日本の農業の課題について考える。	31 32	雇用と労働問題 社会保障と福祉		年度末試験実施前の後半まとめ
		「福祉社会と日本経済の課題」 公害と環境保全 消費者問題 農業・食料問題 中小企業の現状と課題 雇用と労働問題	⑱雇用と労働問題 労働基本権と労働三法について、日本国憲法と関連させて理解する。雇用環境の変化、現代の労働問題について、具体例にふれ、理解、考察する。	33 34	貿易と国際収支 国際経済体制の展開		
			⑲社会保障と福祉 社会保障の考え方の根拠が、日本国憲法にあることを理解する。日本の社会保障制度の4つの柱をとらえる。日本における社会保障制度の課題について、具体例を参照し、考察する。	35 36	発展途上国の経済 地域主義とグローバリズム		

1			<p>⑳貿易と国際収支</p> <p>自由貿易と国際分業の考え方について理解する。為替レートとは何か、外国為替市場で行われていること、為替レートを決める要因について理解する。</p>	37	<p>少子高齢社会において社会保障はどうあるべきか？</p>	<p>年度末試験 (レポート第3回～第4回)</p>
2	第6回 (2月20日)	「福祉社会と日本経済の課題」 社会保障と福祉	<p>㉑地域主義の動き</p> <p>ヨーロッパにおけるEU発足までの動きとEUの現状について理解する。FTAの動きについて、FTAとEPAの違い、TPPをめぐる動きについて、具体例をふまえとらえる。</p>	38 39	<p>地域社会を活性化するにはどうすればよいか？</p> <p>どのようにして若者の労働環境を改善するか？</p>	
		「国民経済と国際経済」 貿易と国際収支 国際経済体制の展開 地域主義の動き	<p>㉒少子高齢社会において社会保障はどうあるべきか？</p> <p>教科書 p 204～205の内容をふまえ、給付と負担のバランスをどうとるか考察する。</p>	40 41	<p>地球環境にやさしいエネルギーをどう確保するか？</p> <p>経済援助は貧困を削減できるか？</p>	
3			<p>㉓どのようにして若者の労働環境を改善するか？</p> <p>教科書 p 208～209の内容をふまえ、若者を取り巻く労働環境を改善するために大切なことを考察する。</p>	42	<p>地球市民社会で日本がなすべきことは何か？</p>	
			<p>3</p> <p>4</p>			